

平成 26 年 6 月治験審査委員会議事要旨

日時：平成 26 年 6 月 16 日（月）17:20～18:00

場所：独立行政法人国立病院機構 旭川医療センター 大研修室

出席者：藤兼俊明副院長、西村英夫特命副院長、藤内智臨床研究部長、永瀬厚診療部長、岡田令事務部長、清野しのぶ看護部長、櫻庭孝行企画課長、橋本一彦外部委員、小島治士外部委員、後藤達也薬剤科長

委員長：藤兼俊明副院長

治験管理室：堀、金野

議題1「日本イーライリリー株式会社の依頼による第 Ib/II 相試験」

依頼者 日本イーライリリー株式会社

【審議事項】

- ・新規の治験受託に伴い、治験責任医師より治験内容説明、質疑応答がなされた。
- ・治験依頼書（2014 年 5 月 28 日）治験実施の妥当性について審議した。

審議結果：承認（西村英夫特命副院長を除く全員）

議題2「アッヴィ合同会社の依頼によるパーキンソン病患者を対象とした、ABT-SLV187の第Ⅲ相試験」

依頼者 アッヴィ合同会社

【審議事項】

- ・治験に関する変更申請書（2014 年 5 月 23 日）（2014 年 5 月 27 日）治験分担医師、その他（治験契約書）の変更について審議した。

審議結果：承認（西村英夫特命副院長を除く全員）

議題3「バイオジェン・アイデック・ジャパン株式会社の依頼による再発寛解型多発性硬化症を対象とした第Ⅲ相試験」

依頼者 バイオジェン・アイディック・ジャパン(株)

【審議事項】

- ・安全性情報等に関する報告書（2014 年 5 月 2 日）（2014 年 5 月 28 日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

- ・治験に関する変更申請書（2014 年 5 月 23 日）治験分担医師、その他（治験契約書）の変更について審議した。

審議結果：承認

議題4「クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社（治験国内管理人）の依頼による非小細胞肺癌患者を対象としたPF-00299804の第Ⅲ相試験」

依頼者 クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン(株)

【審議事項】

- ・安全性情報等に関する報告書（2014 年 5 月 26 日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認（藤兼副院長、藤内智臨床研究部長を除く全員）

議題5「関節リウマチ患者を対象としたBaricitinibの長期安全性及び有効性を検討する多施設共同第Ⅲ相試験」

依頼者 日本イーライリリー株式会社

【審議事項】

- ・安全性情報等に関する報告書（2014 年 5 月 2 日）（2014 年 5 月 16 日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

- ・治験に関する変更申請書（2014 年 5 月 28 日）治験分担医師、その他（治験契約書）の変更について審議した。

審議結果：承認（西村英夫特命副院長を除く全員）

議題6「COPD患者を対象としたKRP-AB1102Fの配合意義試験(第Ⅲ相)」

依頼者 杏林製薬(株)

【審議事項】

- ・安全性情報等に関する報告書（2014 年 5 月 13 日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認（藤兼副院長、藤内智臨床研究部長を除く全員）

議題7「COPD患者を対象としたKRP-AB1102Fの長期投与試験(第Ⅲ相)」

依頼者 杏林製薬(株)

【審議事項】

- ・安全性情報等に関する報告書（2014年5月26日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認（藤兼副院長、藤内智臨床研究部長を除く全員）

議題8「日本イーライリリー株式会社の依頼による関節リウマチ患者を対象とした Baricitinib の第Ⅲ相試験(JADV)」

依頼者 日本イーライリリー株式会社

【審議事項】

- ・安全性情報等に関する報告書（2014年5月2日）（2014年5月16日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

- ・治験に関する変更申請書（2014年5月28日）治験分担医師、その他（治験契約書）の変更について審議した。

審議結果：承認（西村英夫特命副院長を除く全員）

議題9「循環器疾患の既往又は高リスクを有する中等度の慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者を対象としたフルチカゾンフランカルボン酸エステル/GW642444 吸入用散剤 100 mcg/25 mcg 投与時の生存率に対する有効性をプラセボと比較する臨床アウトカム試験」

依頼者 パレクセル・インターナショナル株式会社

【審議事項】

- ・重篤な有害事象に関する報告書（第1報 2014年5月15日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

- ・安全性情報等に関する報告書（2014年5月13日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

- ・治験実施状況計画書（2014年5月26日）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認（藤兼副院長、藤内智臨床研究部長を除く全員）